

## 在セネガル日本国大使館月報

2021年6月

### 主な出来事

#### セネガル

##### (内政)

- パスツール研究所は、4～5月に採取されたコロナの検体検査においてナイジェリア型、英国型、南アフリカ型、インド型の変異種が検出されたと発表し、感染対策の徹底を呼び掛けた。(18日 L'Observateur)
- 12日～18日、サル大統領は北部(サンルイ州、マタム州)の視察を行い、数々のインフラ関連の式典に参加した。(12～18日 大統領府 Facebook)

##### (外政)

- 1日、ホットウ経済大臣は、セネガルを訪問したリステール・仏欧州・外務大臣付対外貿易・誘致担当大臣と会談を行い、仏向けのセネガルのバリューチェーン輸出の加速化及びセネガルの民間セクター支援強化などについて協議した。(2日 Le Soleil)

##### (経済)

- 22日、サル大統領参列の下、中国の支援で設立したジャムナジョの国立データセンターの運用が開始された。セネガル初のデータ管理設備であり、デジタル主権確立への大きな一歩となる。(22日 大統領府 Facebook)

#### カーボベルデ

- カーボベルデを訪問したシーヤールトー・ハンガリー外務貿易大臣は、コレイア・エ・シルヴァ首相、フォンセカ大統領を表敬したほか、カーボベルデ政府にアストラゼネカ製ワクチン10万本を供与した。(8日 Expresso das Ilhas)
- 25日、カーボベルデ政府は、コロナに係る現行の災害宣言を28日から15日間延長することや、国民の19.6%が1回目のワクチン接種を終えた旨を発表した。(25日 保健省 Facebook)

#### ガンビア

- 27日、バロウ大統領は、イスラム協力機構(OIC)の事務総長と会談し、2022年にガンビアで行われるOICサミットに向けた受入準備が順調に進んでいる旨述べた。(28日 The Point)

#### ギニアビサウ

- 2日、サレー国連西アフリカ・サヘル事務所(UNOWAS)特別代表はエンバロ大統領への表敬訪問後、国連は、ギニアビサウの大統領選挙の結果が無駄にならないよう政府当局を支援する旨述べた。(3日 Odemocrata)
- 24日、ギニアビサウ政府は、コロナに係る警戒宣言を7月8日まで15日間延長する決定を行った。(25日 DW)

- ・文中の「コロナ」とは特別な記載がない限り、「新型コロナウイルス」のことを指すこととする。
- ・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。(例:タル外務・在外自国民大臣→タル外務大臣など)

## **セネガル**

### **(内政)**

#### **内政一般**

- パスツール研究所は、ベルギーの Univercells 社との協定に基づき、同社の開発技術を用いたコロナワクチンの製造を 2022 年に開始見込みである。(7 日 Le Quotidien)
- サル大統領はイスラム教団体との会談で、自身の任期中は同性愛を合法化する意向はないと再表明。同性愛については 5 月 23 日、全国で違法化を求めるデモが行われるなど論争が激化しているが、これは大統領の反対派による策略であると指摘されている。(7 日、9 日 Le Quotidien)
- 9 日、テロ及び経済・金融犯罪に対処するための刑法と刑事手続規則の改正法案が閣議で承認された。(12・13 日 Le Soleil)
- パスツール研究所は、4～5 月に採取されたコロナの検体検査においてナイジェリア型、英国型、南アフリカ型、インド型の変異種が検出されたと発表し、感染対策の徹底を呼び掛けた。(18 日 L'Observateur)
- 12 日～18 日、サル大統領は北部(サンルイ州、マタム州)の視察を行い、数々のインフラ関連の式典に参加した。(12～18 日 大統領府 Facebook)
- 5 月 31 日よりセネガル軍がカザマンズ地方で行っていた軍事作戦により、カザマンズ民主解放運動(MFDC)の基地 5 つが解体(うち 3 つが奪還)された。(15 日 Le Soleil)
- 25 日、国会周辺に厳戒態勢が敷かれる中、刑法・刑事手続規則の改正法案が可決された。野党は同法案について、反対派を抑圧する目的であると批判。複数のデモ参加者が逮捕された。(26・27 日 Le Soleil)

### **(外政)**

#### **二国間関連**

- 1 日、ホットゥ経済大臣は、セネガルを訪問したリステール・仏欧州・外務大臣付対外貿易・誘致担当大臣と会談を行い、仏向けのセネガルのバリューチェーン輸出の加速化及びセネガルの民間セクター支援強化などについて協議した。(2 日 Le Soleil)
- 3 日、セネガルは COVAX イニシアチブの枠組みでフランスから供与されたアストラゼネカ社製ワクチン 184,000 本を受領した。(4 日 Le Soleil)
- 10 日、サル大統領は、西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)議長を務めるアクフォ＝アド・ガーナ大統領と会談。ECOWAS の機構改革等について協議した。(10 日 大統領府 Facebook)
- フランスはセネガルのパスツール研究所によるワクチン製造ライン整備のため、1.94 億 FCFA を拠出する。(17 日 Le Soleil)
- 17 日、ホットゥ経済大臣は、セネガルを訪問したミュラー・ドイツ経済協力大臣と会談。セネガルにおけるコロナワクチン生産のため、ドイツが 2 千万ユーロの財政支援を行う旨が発表された。(18 日 Le Soleil)
- 19 日、第 59 回 ECOWAS 首脳会合において、セネガル・ギニア間の軍事・技術協力に関する協定が署名された。(21 日 APS)
- 28 日、サル大統領は、セネガルを訪問したブルキナファソの文化大臣と会談。セネガルは 10 月に行われるワガドゥグ全アフリカ映画祭(FESPACO)に名誉ゲストとして参加予定。(28 日 大統領府)

Facebook)

### **国際情勢・国連機関支援等**

- 2日、アフリカ連合(AU)は、フォル前セネガル教育大臣をチャドの権力移行支援上級代表に任命した。(3日 Le Soleil)
- 2日、サル大統領は、グテーレス国連事務総長と会談し、西アフリカの安全保障等について協議した。(3日 Le Soleil)
- セネガルは、5,080億 FCFA のユーロ債を獲得。調達した資金の70%は2024年に償還期限の米ドル建てユーロ債の再購入、及びセネガルの石油・ガス開発への参画に充てられる。(3日 Le Soleil)
- 世銀はセネガルにおけるコロナワクチンへのアクセス拡大のため、750億 FCFA の財政支援を行う。(4日 Le Soleil)
- 6日、サル大統領は自身の Twitter で、法人税の最低税率を15%以上とする G7 財務相会合の決定について、世界の公平・連帯を示す歴史的決定であると称賛。民間団体からは政府に対し、租税条約の見直し等、多国籍企業関連の税制に関する更なる措置を求める声が上がっている。(7日 Le Soleil)

### **日本関連**

- 2日、駐セネガル日本大使公邸において、第33回俳句コンクール授賞式が行われた。(4日 Le Soleil)
- 9日、日本がハイリッヒ・リュブケ地域病院に供与した医療廃棄物用焼却炉の開所式が行われ、新井大使やアン・ジュルベル州開発担当副知事が出席した。(10日 APS)
- セネガル電力公社(SENLEEC)は、トルコの KARMOL 社と商船三井社のジョイント・ベンチャーが製造した浮体式 LNG 貯蔵再ガス化設備(FSRU)の第一弾がダカールに到着したと発表した。(16日 APS)
- 19日、ファティック州ルル・セセンヌ市の女性に、三菱商事を通じた日本とセネガルの協力により多目的センターが供与された。(23日 Le Soleil)
- 21日、ホトゥ経済大臣と新井大使との間で、ダカール港第三埠頭改修及びコロナ危機対応のための46.5億 FCFA の財政支援に関する文書への署名が行われた。(22日 Le Soleil)
- 22日、ンブール県ンゲニエンにおいて、新井大使とタラ国民教育大臣参列の下、日・セネガル間の協力の枠組みで供与された194の教室の引渡式が行われた。(23日 Seneweb)
- 26日、ンジャイ・セネガル・オリンピック・スポーツ委員会(CNOSS)委員長は、サル大統領が国際オリンピック委員会のゲストとして東京オリンピックに招待されたと発表した。(28日 Le Soleil)
- 30日、新井大使、バ・スポーツ大臣、ホトゥ経済大臣、ンジャイ CNOSS 委員長等参列の下、東京オリンピック・パラリンピックに出場するセネガル代表選手の壮行会が行われた。(7月1日 L'AS)

### **(経済)**

#### **経済一般**

- 22日、サル大統領参列の下、中国の支援で設立したジャムナジョの国立データセンターの運用が開始された。セネガル初のデータ管理設備であり、デジタル主権確立への大きな一歩となる。(22日 大統領府 Facebook)

## (社会)

- 特になし

### カーボベルデ

- 4日、カーボベルデ政府は、フランスからの COVAX 経由のアストラゼネカ製ワクチン 31,200 本を受領した。(4日 保健省 Facebook)
- カーボベルデを訪問したシーヤールトー・ハンガリー外務貿易大臣は、コレイア・エ・シルヴァ首相、フォンセカ大統領を表敬したほか、カーボベルデ政府にアストラゼネカ製ワクチン 10 万本を供与。また、EU によるカーボベルデに対する査証免除や、ハンガリー・カーボベルデ間の二国間経済連携協定の締結について言及した。(8日 Expresso das Ilhas)
- 11日、カーボベルデ政府は、中国から供与されたシノファーム製コロナワクチン 5 万本及び注射器 51,200 本を受領。加えて、25 万本のワクチン獲得に向けて、中国と交渉中。(11・12日 Inforpress)
- 26日、中国はカーボベルデ軍に対して、4.31 億エスクードの輸送・情報機材を供与した。(26日 Inforpress)
- 25日、カーボベルデ政府は、コロナに係る現行の災害宣言を 28 日から 15 日間延長することや、国内の人口の 19.6%が 1 回目のワクチン接種を終えた旨を発表した。(25日 保健省 Facebook)

### ガンビア

- バロウ大統領は 23～29 日にかけてサウジアラビアを訪問し、巡礼を行うほか、リヤドに新築されたガンビア大使館及び大使公邸の落成式に参加する予定。(23日 The Point)
- 27日、バロウ大統領は、イスラム協力機構(OIC)の事務総長と会談し、2022 年にガンビアで行われる OICサミットに向けた受入準備が順調に進んでいる旨述べた。(28日 The Point)
- ECOWAS は、今年 12 月の大統領選挙に向けてガンビアでの ECOWAS ミッション(ECOMIG)の任期や体制の見直しを行うこと、同選挙後は体制を変えることを発表した。(22日 The Point)
- 25日、新井大使は、2020 年度日本政府奨学金国費留学生として今月末に日本に留学予定のガンビア人学生と懇談し、激励した。(29日 The Point)

### ギニアビサウ

- 2日、サレー国連西アフリカ・サヘル事務所(UNOWAS)特別代表はエンバロ大統領への表敬訪問後、国連は、ギニアビサウの大統領選挙の結果が無駄にならないよう、政府当局を支援する旨述べた。(3日 Odemocrata)
- 24日、ギニアビサウ政府は、コロナに係る警戒宣言を 7 月 8 日まで 15 日間延長する決定を行った。(25日 DW)
- 26～27日、エンバロ大統領は、マリを訪問予定。大統領府によると、この訪問は、クーデター後の同国の調停の一環である。(26日 Radiobantaba)

(注) 本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。 (了)